学校番号	313

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	理数物理	単位数	4 単位	年次	3 年次
使用教科書	高等学校「物理」　（啓林館）						
副教材等	ステップアップノート物理　新訂版　（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる」2 年生での物理基礎の学習を基に、自然現象の理解について「力学」、「電磁気学」、「熱力学」、「波動」、「原子」の領域について、過去の研究者がどのように考え現在の考え方に行ったかを考えて物理学を勉強してほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
物理学が日常生活や社会とどのように関連をしているのかを図り、物体の運動と様々なエネルギーへの関心を持つ
【思考力、判断力、表現力等】
目的意識をもって観察や実験などを行い、物理学的に考える能力や探究する態度を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、自然界の現象を説明することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理･法則を理解し､知識を身に付けている。また、観察､実験などを行い､基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録，整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録，整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	さまざまな運動	平面内の運動 剛体のつり合い 運動量の保存 円運動 単振動 万有引力	a:基本的運動法則が理解できている。 b:基本的な運動法則を用いて様々な力学現象の理解ができている。 c:教科書・問題集の演習問題に自主的・積極的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	授業態度 発問評価 課題評価
		気体のエネルギーと状態変化	a:基本的な気体の法則について理解ができている。 b:基本的な気体に関する法則を用いて様々な気体の現象が理解できている。 c: 教科書・問題集の演習問題に自主的・積極的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	授業態度 発問評価 課題評価
2学期	波	波の伝わり方 音の伝わり方 光	a: a:波動についての基本的な内容が理解できている。 b:波動の基本的な内容から、様々な波動の現象が機械で来ている。 c: 教科書・問題集の演習問題に自主的・積極的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 課題評価	授業態度 発問評価 課題評価

	電気と磁気	電場 電流 電流と磁場 電磁誘導と電磁波	a:電磁気の基本的な法則について理解できている。 b:電磁気の基本的法則に基づき、様々な電磁気の内容が理解できている。 c: 教科書・問題集の演習問題に自主的・積極的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 課題評価	授業態度 発問評価 課題評価
3学期	原子	電子と光 原子と原子核	a:基本的な素粒子に関する法則が理解できている。 b:素粒子の基本的な法則に基づき、様々な原子レベルの現象が理解できている。 c: 教科書・問題集の演習問題に自主的・積極的に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 課題評価	授業態度 発問評価 課題評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度